

ゆうせいしゅじゅつひがいしゃ あゆ かい
優生手術被害者とともに歩むみやぎの会
がくしゅうかいだん
学習会第3弾!

ゆうせいせいさく
「優生政策」と
たたかってきた人たち
~歴史とこれから~
ねん がつ か ど
2019年3月2日(土)

かいじょう
13:00~16:00 [開場12:30]

せんだいし だいにけんしゅうしつ
仙台市シルバーセンター6F第二研修室

せんだいしあおばくかきょういん ちやうめ
仙台市青葉区花京院1丁目3-2

さん か ひ む りやう
参加費：無料

しゅわつうやく ようやくひつき
手話通訳・要約筆記あり

もう こ ふよう
申し込み不要

えいがじやうえい
[ドキュメンタリー映画上映]
「レイラニ・ミュアーの不妊手術」

ゆうせいほごほうさいばん
優生保護法裁判
げんこく
原告のメッセージ
よてい
予定

こうえん
[講演]
「優生保護法を終わらせたい」
よねづともこ
米津知子さん

ゆうせいしゅじゅつ たい しゃざい もと かい
(優生手術に対する謝罪を求める会)

ゆうせいしゅじゅつひがいしゃ あゆ かい
優生手術被害者とともに歩むみやぎの会

〒980-0804 仙台市青葉区大町1丁目2-1 ライオンビル3階 宇都・山田法律事務所 気付

FAX: 022-397-7961 E-mail: testify19481996@gmail.com

HP: <https://tomoniayumu.wixsite.com/mysite>

★みやぎ生協福祉活動助成金より助成を受けて活動をしています★

ねん がつ にち きゅうゆうせいほごほうか きょうせいふにんしゅじゅつ いけん
2018年1月30日、旧優生保護法下での強制不妊手術は違憲であったとして、
くに しゃざい ほしょう もと さいばん せんだいちさい はじ
国に謝罪と補償を求める裁判が仙台地裁で始まりました。

きゅうゆうせいほごほう ねん ねん ぞんざい
旧優生保護法は、1948年から1996年まで存在していました。

かんが かた せいてい はいし
どんな考え方のもとで制定され、なぜ廃止されることになったのでしょうか。

じつ はいし いた とうじ しょうがいしゃ じよせい うんどう
実は、廃止に至るまでには、当時の障害者や女性たちの運動がありました。

こんかい ゆうせいしゅじゅつ たい しゃざい もと かい よねづともこ まね
今回は、「優生手術に対する謝罪を求める会」の米津知子さんをお招きし、

ゆうせいほごほうはいし うんどう まな
優生保護法廃止までにどのような運動があったのかを学びます。

また、カナダ・アルバータ州の法律で同様の被害を受けたレイラニ・ミュアーさんの
さいばん かんしょう かいがい さいばん きちよう さくひん
裁判のドキュメンタリーも鑑賞します。海外での裁判の貴重な作品です。

げんこく かた よてい
原告の方からのメッセージも予定しています。

おな ふたど く かえ
同じようなことが二度と繰り返されないように、

れきし いま まな おも
歴史と今を学び、これからにつなげていきたいと思ひます。

えいが ドキュメンタリー映画

ふにんしゅじゅつ 『レイラニ・ミュアーの不妊手術』

こくりつえい がせいさくちよう にほんごばん
カナダ国立映画制作庁ビデオライブラリー日本語版

ふん ねんせいさく にほんごふ か
47分 1999年制作 日本語吹き替え

せいきぜんはん せかい ひろ ゆうせいagak
20世紀前半に世界に広まった「優生学」。

しゅう ほうりつ きょうせいふにんしゅじゅつ
カナダ・アルバータ州の法律で強制不妊手術をさせられた

しゅうせいふ あいてど さいばん お
レイラニ・ミュアーさんは州政府を相手取って裁判を起こす。

かんが かた しゅじゅつ
どのような考え方のもとで手術がおこなわれてきたのかが、

さいばん あき さいばん けつが
裁判で明らかになる。そして、裁判の結果は一。

みやぎ きょうゆう さくひん
いま、宮城で共有したい作品。

げんざい う
現在は売っていない
さくひん けんない か
作品。県内では借りる
こともできないので、
きかい
ぜひこの機会に！

こうし よねづともこ 講師プロフィール：米津知子さん

ゆうせいしゅじゅつ たい しゃざい もと かい じよせいしょうがいしゃ
優生手術に対する謝罪を求める会、DPI女性障害者ネットワーク、

SOSHIREN 女(わたし)のからだからメンバー。とうきょうざいじゅう
東京在住。

ねんだい うんどう ゆうせいほごほう もんだい ちから そそ
1970年代のウーマンリブ運動から優生保護法の問題に力を注いできた。

ほう はいしご ひがいしゃ しゃざい ほしょう もと つづ
法の廃止後も、被害者への謝罪や補償を求め続けている。

しょうがいとうじしゃ げんざい しょうがい じよせい ふくごうさべつ
ポリオの障害当事者でもあり、現在は障害のある女性の複合差別に

とく
ついて取り組んでいる。

きょうちよ ばたいほごほう ねん あかししょてん
共著に『母体保護法とわたしたち』(2002年、明石書店)がある

ゆうせいほごほう おか つみ こ うば ひとびと しょうげん
『優生保護法の犯した罪—子どもをもつことを奪われた人々の証言

そうほしんそうばん ねん げんだいしよかん へんしゅう さんか
(増補新装版)』(2018年、現代書館)編集にも参加。